

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
さきたま杯	2018/5/30	JpnII	浦和	1400m	ハイペース	重	コース適性

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	キタサンミカヅキ	牡8	57	繁田	キングヘイロー	ノーザン系	サクラバクシンオー	ナスルーラ系	B	B	B	C	B	B	▲	
2	2	サクセスエナジー	牡4	56	松山	キンシャサノキセキ	サンデー系	ジャングルポケット	ナスルーラ系	B	B	B	C	B	B	△1	
3	3	アンサンブルライフ	牡5	56	的場文	アジュディケーティング	ノーザン系	Dancing Brave	アリダー系	D	C	B	D	C	C		
4	4	ネロ	牡7	56	未定	ヨハネスブルグ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	B		C	B	B	B	△3	
5	5	ユッコ	牝6	54	高松	ハーツクライ	サンデー系	Saint Ballado	ヘイロー系	D	C	D	D	D	D		
	6	ナガラオリオン	牡9	56	吉原	アドマイヤマックス	サンデー系	トワイニング	ミスプロ系	D	A	C	B	C	B	×1	
6	7	ノブワイルド	牡6	56	左海	ヴァーミリアン	ミスプロ系	アンバーシャダイ	ノーザン系	B	A	A	B	A	A	◎	
	8	サクラレグナム	牡9	56	赤岡	サクラプレジデント	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	D	A	C	D	C	C		
7	9	キングルアウ	牡6	56	酒井	キングカメハメハ	ミスプロ系	ウォーエンブレム	ミスプロ系	D	B	D	D	D	D		
	10	ベストウォーリア	牡8	58	戸崎	Majestic Warrior	サンデー系	Mr. Greeley	ミスプロ系	B	A	B	B	B	B	△2	
8	11	グレイスフルリーブ	牡8	57	武豊	ゴールドアリュール	サンデー系	Seeking the Gold	ミスプロ系	A	A	A	B	A	B	○	
	12	トロヴァオ	牡5	56	御神本	カネヒキリ	サンデー系	Cox's Ridge	ターントウ系	D	A	D	D	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
ノブワ ネロ グレイ サクセ ベスト アンサ ナガラ トロヴ キタサ サクラ ユッコ キング	<p>さきたま杯は地方ダートグレードの中でも地方馬の台頭が目立つレース。過去5年のさきたま杯では、16年2番人気1着ソルテ、15年2番人気3着リアライズリンクス、14年7番人気2着トキノエクセレント、13年7番人気3着ナイキマドリッドが3着以内に好走。昨年こそJRA勢の上位独占で決まったが、4着は地元のアサンブルライフ。浦和コースは能力差よりもコース適性の有無が結果を左右することが多く、さきたま杯においては地の利、コースを走り慣れていることが大きなアドバンテージになるだろう。今年のJRA勢は4頭のうち3頭がダートグレード勝ち馬。それなりに強力なメンバーがそろったが、さきたま杯のレース傾向、昨今のダートグレードにおける地方勢の活躍を考えると、地方勢にもチャンスは十分にあるはずだ。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はノブワイルドの逃げ切りがありそうだ。(以下省略)</p>	<p>回顧</p>

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	キタサンミカツキ	▲	地方に転入後は【2.2.2.1】の安定感。ベストは大井1200mかもしれないが、4走前のゴールドカップでは勝ち馬ソルテから0.1秒差の3着。差し馬ながら器用な面があり、浦和コースにも対応可能。		
2	2	サクセスエナジー	△1	前走かきつばた記念でダートグレード初制覇。キャリアの浅さ、年齢を考えると、まだまだ上を目指そう。今回の懸念は内枠を引いたこと。これまで1～6番ゲート【0.0.0.4】、7～16番ゲート【5.1.0.1】と内枠を引いた時はいまひとつ。		
3	3	アンサンブルライフ		昨年のさきたま杯4着馬も、その後は成績が下降気味。近走はデンの行きつづりが悪くなっており、ここは自分の競馬をさせてもらえないだろう。		
4	4	ネロ	△3	JBCスプリント4着、東京スプリント3着だけ走れば、能力的には圏内。ただ今回はコーナー4回の1400m。デビュー以降、ワンタンのコースしか経験しておらず、対応できるかは大きな不安。仮に対応できたとしてもこの枠だと揉まれる形になって力を出し切れずに敗れるかもしれない。		
5	5	ユッコ		地元の岩手でも苦戦続き。ダートグレードでは明らかに荷が重い。		
	6	ナガラオリオン	×1	金沢の2戦はスピードの違いでハナに立てているだけ。今回、ハナに立つのはほぼ不可能で、揉まれて何も出来ずに終わりそうだが、JRAのオープンまで出世した馬なら押さえておく。		
6	7	ノブワイルド	◎	地方に移籍後は休み休み使われており、軌道に乗れなかったが、今年に入ってから2戦が反則気味の強さ。特に2走前のJRAとの交流戦・マルチフレンド特別では楽々と1分26秒4の好時計をマーク。過去5年のさきたま杯の勝ち時計と比較してもそんな色なく、ダートグレードでも通用する。		
	8	サクラレグナム		南関東で通用しないことが分かり、高知に移籍。ダートグレードでは荷が重い。		
7	9	キングルアウ		能力不足の上、距離が短い。		
	10	ベストウォーリア	△2	過去2年のさきたま杯は16年1番人気2着、17年1番人気3着と人気を下回る結果で、コース適性があつたわけではない。前走かしわ記念は展開の恩恵を受けながらも直線入り口であっさりした後退。この手の血統は走らなくなるとサッパリ走らなくなるので、過去の実績は忘れたほうがいい。		
8	11	グレイスフルリーブ	○	過去に浦和1400mのオーバルスプリントで3番人気7着と敗れているが、当時は内枠から流れに乗れず、負けるべくして負けたレース。これまでのレースぶりからコーナー4回のダート1400mを得意としており、流れに乗りやすい外枠なら力を発揮できるだろう。		
	12	トロヴァオ		好走パターンは内目の枠に入って脚を溜めることができた時。思い切って下げれば、脚が溜まるかもしれないが、浦和では届かないだろう。		